



# PROGRESS

## あけましておめでとうございます～2026年はどんな年？～

2026年は午年(うまどし)です。十干の「丙(ひのえ)」と十二支の「午(うま)」が組み合わさった「丙午(ひのえうま)」です。「干支」は古代中国で使われていた年代の表し方です。万物の基と考えられた五行「木・火・土・金・火」を、「十干」(甲, 乙, 丙, 丁, 戊, 己, 庚, 辛, 壬, 癸)の10種類でそれぞれ2つ分けた「五行十干」と「十二支」(子, 丑, 寅, 卯, 辰, 巳, 午, 未, 申, 酉, 戌, 亥)との組み合わせで作られ, 60年で一回りします(還暦)。また, 十二支は江戸時代まで時刻や方位を表す際に使われていました。2026年の丙午は60通り中43番目です。

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
十干	きのえ 甲	きのと 乙	ひのえ 丙	ひのと 丁	つちのえ 戊	つちのと 己	かのえ 庚	かのと 辛	みずのえ 壬	みずのと 癸
十二支	ね 子	うし 丑	とら 寅	う 卯	たつ 辰	み 巳	うま 午	ひつじ 未	さる 申	とり 酉
干支	きのえね 甲子	きのとうし 乙丑	ひのえとら 丙寅	ひのとう 丁卯	つちのえたつ 戊辰	つちのとみ 己巳	かのえうま 庚午	かのとひつじ 辛未	みずのえさる 壬申	みずのととり 癸酉
No	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
十干	きのえ 甲	きのと 乙	ひのえ 丙	ひのと 丁	つちのえ 戊	つちのと 己	かのえ 庚	かのと 辛	みずのえ 壬	みずのと 癸
十二支	いぬ 戌	い 亥	ね 子	うし 丑	とら 寅	う 卯	たつ 辰	み 巳	うま 午	ひつじ 未
干支	きのえいぬ 甲戌	きのとい 乙亥	ひのえね 丙子	ひのとうし 丁丑	つちのえとら 戊寅	つちのとう 己卯	かのえたつ 庚辰	かのとみ 辛巳	みずのえうま 壬午	みずのとひつじ 癸未
No	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
十干	きのえ 甲	きのと 乙	ひのえ 丙	ひのと 丁	つちのえ 戊	つちのと 己	かのえ 庚	かのと 辛	みずのえ 壬	みずのと 癸
十二支	さる 申	とり 酉	いぬ 戌	い 亥	ね 子	うし 丑	とら 寅	う 卯	たつ 辰	み 巳
干支	きのえさる 甲申	きのととり 乙酉	ひのえいぬ 丙戌	ひのとい 丁亥	つちのえね 戊子	つちのとうし 己丑	かのえとら 庚寅	かのと 辛卯	みずのえたつ 壬辰	みずのとみ 癸巳
No	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
十干	きのえ 甲	きのと 乙	ひのえ 丙	ひのと 丁	つちのえ 戊	つちのと 己	かのえ 庚	かのと 辛	みずのえ 壬	みずのと 癸
十二支	うま 午	ひつじ 未	さる 申	とり 酉	いぬ 戌	い 亥	ね 子	うし 丑	とら 寅	う 卯
干支	きのえうま 甲午	きのとひつじ 乙未	ひのえさる 丙申	ひのととり 丁酉	つちのえいぬ 戊戌	つちのとい 己亥	かのえね 庚子	かのと 辛丑	みずのえとら 壬寅	みずのとう 癸卯
No	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
十干	きのえ 甲	きのと 乙	ひのえ 丙	ひのと 丁	つちのえ 戊	つちのと 己	かのえ 庚	かのと 辛	みずのえ 壬	みずのと 癸
十二支	たつ 辰	み 巳	うま 午	ひつじ 未	さる 申	とり 酉	いぬ 戌	い 亥	ね 子	うし 丑
干支	きのえたつ 甲辰	きのとみ 乙巳	ひのえうま 丙午	ひのとひつじ 丁未	つちのえさる 戊申	つちのととり 己酉	かのえいぬ 庚戌	かのと 辛亥	みずのえね 壬子	みずのとうし 癸丑
No	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
十干	きのえ 甲	きのと 乙	ひのえ 丙	ひのと 丁	つちのえ 戊	つちのと 己	かのえ 庚	かのと 辛	みずのえ 壬	みずのと 癸
十二支	とら 寅	う 卯	たつ 辰	み 巳	うま 午	ひつじ 未	さる 申	とり 酉	いぬ 戌	い 亥
干支	きのえとら 甲寅	きのとう 乙卯	ひのえたつ 丙辰	ひのとみ 丁巳	つちのえうま 戊午	つちのとひつじ 己未	かのえさる 庚申	かのととり 辛酉	みずのえいぬ 壬戌	みずのとい 癸亥

裏面に続きます

「丙」は十干の3番目で、「丙」という文字には、「大地から芽が出て葉が広がった状態」という意味があり、陰陽五行説では陽の火を表し、「太陽のように大きく広がる火」「明るい」「活発」「生命力にあふれている」などの太陽や火が持つ強いエネルギーを象徴するそうです。

「午」は十二支の7番目で、馬を表します。行動力やスピード、エネルギーを意味し、勢いがあり、勇敢で独立心が強いとされているそうです。

この2つの組み合わせである丙午は、「情熱と行動力で突き進む」「燃え盛るようなエネルギーで道を切り拓く」といった縁起の良さがあるそうです。

さて、2026年はみんなにとってどんな年になるのでしょうか。2026年の4月からは新入生が入学し、先輩となります。2026年の1月～3月は2025年度を締めくくる時期に加え、先輩になるための準備期間でもあります。2025年の振り返りをいかし、さらに良い1年になるように努力し、自分を高める行動を積み重ねていきましょう。



#### <参考資料>

- ・国立国会図書館ホームページ「国立国会図書館の暦コレクション」
- ・国立天文台「暦 Wiki」
- ・東京書籍「新しい社会歴史」

## 確認～防寒着と着こなし～

寒くなり、制服の上に防寒着を着たり、制服の下にセーターやカーディガンを着たりすることが多くなっています。ただ、防寒着としてふさわしくないものを着用していたり、セーターやカーディガンをだらしく着たりしている姿が見られます。生徒手帳には服装等に関する規定が次のように記載されています。

#### <服装等に関する規定(生徒手帳より抜粋)>

- \*男女とも防寒用セーター・トレーナーは、白・グレー・紺・茶・ベージュを基調とする無地又はワンポイント程度のものにする。ベスト類もこれに準ずる。  
(※ワンポイント=にぎりこぶしぐらいの大きさ)
- \*防寒具(コート・ジャンパー等)は、黒・白・紺・グレー・茶・ベージュで無地を基調とし、高価なものは自粛する。

そこで、12月25日(木)の全校集会で全校生徒に防寒着と着こなしについて確認がありました。

#### <確認した内容>

- ・防寒着は冬服の上に着用し、雨・風・寒さから身を守るために着用するもの。
- ・制服は正式な場面でも着用する正装で、防寒着もこれに合わせる。
- ・セーターやカーディガンを着る場合は、袖口や裾から出ないように着用する。

例えば、トレーナー生地のパーカーなどは、雨から身を守ることができず、また、トレーナー生地のパーカーはカジュアルな服装で、正装の上から着用する防寒着として、ふさわしくないと考えます。

1月になり、県内でも高校入試が始まっています。高校入試は、制服で受験をします。普段から、誰が見てもきちんとした服装で過ごし、大事な時を普段通り迎えることが大切です。特別な時・大事な時は普段があらわれると思います。

まずは、しっかりと身だしなみを整え、2026年を過ごしましょう。